

公益財団法人 日本サッカー協会
2017年度 第3回理事会

協議事項

1	<p>定時評議員会開催の件</p> <p>以下の通り、定時評議員会を開催したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開催日時：3月26日(日) 13:00～ 2. 会場：日本サッカー協会 3. 議題：《協議事項》 <ol style="list-style-type: none"> (1) 評議員2名選任の件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般財団法人岡山県サッカー協会 会長 山下 立次/62歳 ・ 一般社団法人日本女子サッカーリーグ 専務理事 田村 貢/54歳 (2) 2016年度決算の件 (3) 定款改正の件 (4) 基本規程廃止・各種規則制定の件 (5) 会計監査人選任の件 (6) 一般財団法人日本ビーチサッカー連盟 加盟団体（各種の連盟）認定の件 《報告事項》 <ol style="list-style-type: none"> (1) 2016年度事業報告の件
2	<p>JFAにおける内部統制システム整備の件</p> <p>(協議) 資料No.1①②</p> <p>JFAが準拠する「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（法人法）」第90条第4項では、大規模法人は、“理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他一般社団（財団（準用））の業務の適正を確保するために必要なものとして、法務省令で定める体制の整備（内部統制制度）”についての決定は理事会でしなければならないとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 大規模法人：貸借対照表の負債合計額が、200億円以上である法人（JFA:67億円/2015） * 内部統制制度導入の目的 <ol style="list-style-type: none"> ①業務の有効性及び効率性の確保、②財務報告の信頼性確保、 ③事業活動に関わる法令等の遵守、④資産の保全 <p>JFAは大規模法人ではないが、加盟FA、連盟やサッカーファミリーといった大きなステークホルダーを有し、世界トップ10を目指す組織である。また、公益財団法人として、公益認定法に基づき事業の適正な運営が求められる法人である。</p> <p>JFAはガバナンスを確保し、役員が善管注意義務および忠実義務を果たし、その目的を有効的、効率的かつ適正に達成するため、法人法の規定に従い、その体制（内部統制）構築、内部諸規定の整備運用を行う必要がある。</p> <p>については、JFAに内部統制体制を整備することとしたい。</p>

1. 構築すべき体制

法人法施行規則第14条の規定に基づく体制とする。

2. 基本方針

別添「公益財団日本サッカー協会内部統制基本方針（案）」を元に、よりJFAの実情に合わせ精査し、作成する。

3. 開示

基本方針作成後、法人法施行規則第34条に基づき、整備内容、運用状況について報告する。

4. 整備事項（主なもの）

(1) 諸規程

文書管理規程、リスク管理規程、理事会等運営規程、決裁/稟議規程、事務所掌規程、コンプライアンス規程、監事監査規程

(2) 諸機関

内部監査担当組織、リスク管理担当理事及びリスク管理統括組織、コンプライアンス担当組織、監事担当部

(3) 運用方法（ITの対応を考慮する）

各種文書保存方法、リスク分析管理対応方法、事業評価/業績目標達成管理方法、公益者通報制度（既存）、監事への報告方法

5. 整備方法及びスケジュール

(1) 方法

基本方針（案）を元に、個々に諸規程、諸機関及びプロセスを制定、整備しつつ、必要に応じ、基本方針（案）の修正を行う。

(2) スケジュール

2017年12月理事会において基本方針を最終化（承認を得る）すべく、必要な諸規程等をそれまでに整備する。

6. 体制構築後

社会情勢、要請やJFAそのものの変化に伴い、また、諸問題発生により再発防止、予防などを目的として、体制は定期的に見直し、規則や組織、運用方法の変更を行う（PDCA）。

3 「DREAM 福島 アクションプラン」(案)の件

(協議) 資料No.2

JFAは、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）と共に、添付の「DREAM 福島アクションプラン」(案)に基づき、福島の復興支援により一層の力を入れていきたい。

なお、アクションプランの遂行に必要な予算は、その一部について「東日本大震災サッカーファミリー復興支援金」を活用するものの、具体的な事業の実施にあたっては、国や福島県等の補助金等を活用する他、Jリーグの「TEAM AS ONE 募金」等も活用し、実施していくものとする。

また、この「DREAM 福島アクションプラン」(案)は、2月に開催されたJリーグ理事会にて承認済みで、JFA理事会終了後、3月13日に田嶋会長及び村井副会長（Jリーグ チェアマン）が福島県を訪問、福島県知事と面談し、「DREAM 福島アクションプラン」の説明を行うと共に、会見を行う。

4 日本人指導者海外派遣の件

(協議) 資料No.3①②

アジア貢献事業の一環として、下記の派遣に関し、指導者本人及び派遣先協会との契約更新及び新規契約を締結したい。

<更新>

派遣指導者： 李 成俊 (り そんじゅん)

派遣先協会： ブータンサッカー連盟 (BFF)

資格： 日本サッカー協会公認 A 級コーチ (2013 年取得)

役職： U-18、U-16、U-15 ブータン代表監督

契約期間： 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

費用負担： [JFA] 給与及び傷害保険料

[BFF] 住居、国内移動車両、

日本-ブータン間の航空券 (本人/配偶者の帰任及び休暇 2 往復)

略歴： 添付別紙のとおり

実施理由： BFF よりユース年代指導の継続依頼を受け、本人も受諾したため。

<更新>

派遣指導者： 渡辺 勉 (わたなべ つとむ)

派遣先協会： チャイニーズタイペイサッカー協会 (CTFA)

資格： 日本サッカー協会公認 A 級ライセンス (2004 年取得)

役職： 技術委員長

契約期間： 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

費用負担： [JFA] 給与及び傷害保険料

[CTFA] 住居、国内移動車両、

日本-タイペイ間の航空券 (本人の帰任及び休暇 2 往復)

略歴： 添付別紙のとおり

補足： 2012 年からチャイニーズタイペイでユース育成統括を務めていた黒田和生氏が昨年 11 月より代表監督に就任したため、CTFA から改めて日本人の後任者を技術委員長として招聘したいとの依頼を受けた。公募選考の結果、愛媛県サッカー協会にて技術委員長を 10 年務め、類似した業務に精通している同氏を、推薦後面談を経て、CTFA が受諾したものの。

5 フットサル日本代表監督 契約期間延長の件

(協議) 資料No.4

フットサル日本代表監督の契約期間を以下の通り延長したい。

氏名：ブルーノ・ガルシア

生年月日：1974 年 6 月 6 日

プロフィール：別紙参照

	<p>延長理由：2017年5月に開催されるAFC U-20 フットサル選手権への帯同、6月に行われる国内トレーニングキャンプへの帯同が予定されるため。</p> <p>今後の主な活動：</p> <p>2017年11月 AFC フットサル選手権 2018 予選(EAST ZONE)</p> <p>2018年2月 AFC フットサル選手権 2018 決勝大会</p>
6	<p>2017年ユースディベロップメント体制の件</p> <p>(協議) 資料No.5①②</p> <p>2017年のユースディベロップメント体制について、4月1日より以下の1名を選任したい。</p> <p>西川 誠太(にしかわ せいだい) / 担当地域なし</p> <p>※ユースディベロップメント体制・プロフィールは別紙参照</p>
7	<p>JFA/Jリーグ協働プログラム 日本人指導者海外派遣の件</p> <p>(協議) 資料No.6</p> <p>JFA/Jリーグ協働プログラム(JJP)の一環として、2017年度支援金交付要領に基づき、以下の指導者を派遣したい。</p> <p>派遣指導者：富樫 剛一(とがし こういち)</p> <p>派遣先：レアル・ソシエダ(スペイン1部リーグ)</p> <p>資格：S級コーチライセンス(2014年取得)</p> <p>所属：東京ヴェルディ1969フットボールクラブ</p> <p>役職：強化部アカデミーディレクター</p> <p>派遣期間：2017年7月～2018年6月</p> <p>費用負担：生活費(住居等、自家用車)、研修に係る経費(施設使用料等、交通費)、日当、査証取得関連経費等、海外渡航費等、保険代</p> <p>略歴：添付別紙のとおり</p>
8	<p>テクニカルハウス 審判委員会関連業務従事者との契約の件</p> <p>(協議) 資料No.7</p> <p>以下の1名と契約を継続したい。</p> <p>テクニカルハウス 審判委員会関連業務従事者</p> <p>柿沼 亨(かきぬま とおる) 1981年5月13日生</p> <p>契約期間 2017年4月1日～2019年3月31日：2年間</p>
9	<p>JFA ユニクロサッカーキッズ in シンガポール開催の件</p> <p>「JFA ユニクロサッカーキッズ in シンガポール」を、以下の通り開催したい。</p> <p>事業名：JFA ユニクロサッカーキッズ in シンガポール</p> <p>主催：公益財団法人日本サッカー協会</p> <p>特別協賛：UNIQLO (SINGAPORE) PTE. LTD.</p>

協 力：シンガポールサッカー協会
開 催 日：4月22日（土）
会 場：シンガポール／ジャランベサルスタジアム
内 容：少人数制のミニサッカーフェスティバル
対 象：6歳以下の未就学児、約500名（参加料無料）

10 JFA サッカー施設整備助成金の交付決定の件

「JFA サッカー施設整備助成金 交付要項」に基づき、申請のあった以下の案件について、交付決定したい。1. 愛知県 [申請概要]

- (1) 申請者：公益財団法人愛知県サッカー協会
- (2) 計画地：愛知県名古屋市昭和区鶴舞1
- (3) 申請区分：[助成区分2] 地区サッカー施設整備助成事業
- (4) 施設名：（仮称）愛知県フットボールセンター 鶴舞公園スポーツコミュニティセンター
- (5) 助成対象事業：人工芝グラウンド（新設）、夜間照明（新設）
- (6) 助成金申請額：60,000千円
- (7) 工期：2017年6月～2018年2月末（予定）

※準備工・敷地内の構造物撤去等は2017年3月から開始。